



標準終了ステータス値 Snapdrive for Unix

NetApp
August 08, 2024

目次

標準終了ステータス値	1
エラーメッセージの終了ステータスの値について	1
終了ステータス値を使用する	1
スクリプトの例	1
終了ステータスの値	3

標準終了ステータス値

SnapDrive for UNIX のエラーメッセージ ID には、終了ステータス値が関連付けられています。終了ステータスの値を使用して、SnapDrive for UNIX コマンドの成功または失敗を判断できます。

エラーメッセージの終了ステータスの値について

SnapDrive for UNIX の各エラーメッセージには、終了ステータスの値が関連付けられています。終了ステータスの値には 'エラーの原因と' タイプ - 警告 ' コマンド ' 管理者 ' 致命的

各 SnapDrive エラーメッセージ ID は、終了ステータス値にリンクされています。終了ステータスの値には次の情報が含まれます。

- 終了ステータス値 — エラー状態の基本原因を示します
- タイプ — エラーのタイプを示します重大度のレベルは、値ではなくメッセージによって異なります。指定可能な値は次のとおりです。
 - 警告 — SnapDrive for UNIX はコマンドを実行しましたが、注意が必要な状態に関する警告が発行されました。
 - コマンド — コマンドラインのエラーにより、SnapDrive for UNIX がコマンドの実行に失敗しました。コマンドラインの形式が正しいことを確認してください。
 - Admin — SnapDrive for UNIX はシステム構成の互換性がないため、コマンドの実行に失敗しました。システム管理者に問い合わせ、設定パラメータを確認してください。
 - fatal — 予期しない状態のため、SnapDrive for UNIX がコマンドの実行に失敗しました。致命的なエラーはまれです。致命的なエラーが発生し、問題を解決できた場合は、ネットアップテクニカルサポートに問い合わせ、正常にリカバリしてエラー状態を修正するために必要な手順を確認してください。

終了ステータス値を使用する

終了ステータスの値は、SnapDrive for UNIX コマンドの成功または失敗を判別するスクリプトで使用されます。

- 値が 0 の場合は、コマンドが正常に完了したことを示します。
- 0 以外の値は、コマンドが完了していないこと、および原因に関する情報とエラー状態の重大度を示します。

スクリプトの例

以下は、終了ステータス値を使用するスクリプトの例です。

次のスクリプトでは、SnapDrive for UNIX の終了ステータス値を使用します。

```
#!/bin/sh
# This script demonstrates a SnapDrive
# script that uses exit codes.

RET=0;
#The above statement initializes RET and sets it to 0

snapdrive snap create -dg vg22 -snapname vg22_snap1;
# The above statement executes the snapdrive command

RET=$?;
#The above statement captures the return code.
#If the operation worked, print
#success message. If the operation failed, print
#failure message and exit.

if [ $RET -eq 0 ]; then
echo "snapshot created successfully"
else
echo "snapshot creation failed, snapdrive exit code was $RET"
exit 1
fi
exit 0;
```

RET = 0 の場合、コマンドは正常に実行され、スクリプトは次のように出力します。

```
# ./tst_script
snap create: snapshot vg22_snap1 contains:
disk group vg22 containing host volumes
lvoll
snap create: created snapshot betty:/vol/vol2:vg22_snap1
snapshot created successfully
```

RET = 0 以外の値の場合、コマンドは正常に実行されませんでした。次の例は、一般的な出力を示しています。

```
# ./tst_script
0001-185 Command error: snapshot betty:/vol/vol2:vg22_snap1 already
exists on betty:/vol/vol2.
Please use -f (force) flag to overwrite existing snapshot
snapshot creation failed, snapdrive exit code was 4
```

終了ステータスの値

各終了ステータス値には、エラー名と、それに関連付けられたタイプがあります。テーブルを表示して、終了ステータス値、エラー名、タイプ、および概要について確認します。

次の表に、終了ステータスの値を示します。終了ステータスの値には、順番に番号が付けられます。SnapDrive for UNIX が現在エラーを実装していない場合、この終了ステータスの値はテーブルに含まれません。その結果、数値にギャップが生じる場合があります。

終了値	エラー名	を入力します	説明
1.	サポート対象外	コマンドエラー	このバージョンの SnapDrive for UNIX ではサポートされていない関数が呼び出されました。
2.	メモリがありません	致命的	システムのメモリが不足しています。SnapDrive for UNIX は、十分なメモリを解放しないと動作しません。実行中の他のアプリケーションを調べて、過剰なメモリを消費していないことを確認します。
3.	無効なコマンドです	コマンドエラー	無効なコマンドを発行しました。これは、入力したコマンドのテキストに構文エラーがある可能性があります。
4.	はすでに存在します	コマンドエラー	すでに存在するものを作成するよう要求しました。通常、このエラーは、Snapshot コピーの名前を指します。この名前は、Snapshot コピーを作成するストレージシステムボリュームには存在しない名前にする必要があります。

終了値	エラー名	を入力します	説明
5.	スレッドの作成に失敗しました	管理エラー	SnapDrive for UNIX はプロセススレッドを作成できませんでした。システムで実行されている他のプロセスを調べて、十分なスレッドリソースが使用可能であることを確認します。
6.	が見つかりません	コマンドエラー	SnapDrive for UNIX のコマンドラインに、ファイル、データグループ、ホストボリューム、ファイルシステム、またはその他の引数が存在しない場合は、それらを入力します。
7.	マウントされたファイルシステムではありません	コマンドエラー	アクセスするファイルシステムが有効なファイルシステムでないか、マウントされていません。
9.	ボリュームマネージャのエラーです	コマンドエラー	ボリュームマネージャへのアクセス時にエラーが返されました。エラーの詳細およびその理由については、特定のエラーメッセージを参照してください。
10.	名前が無効です	コマンドエラー	<p>コマンドラインに、正しくフォーマットされていない名前を入力しました。</p> <p>たとえば、ストレージ・システム・ボリュームが「filer : /vol/vol_name」として指定されていません。また、ストレージシステムまたはボリュームマネージャベースの名前に無効な文字が含まれている場合にも表示されます。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
11.	デバイスが見つかりません	管理エラー	<p>SnapDrive for UNIX は、Snapshot コピーを作成するディスクグループ内の LUN にはアクセスできません。</p> <p>ホストとストレージ・システムの両方で、すべての LUN のステータスを確認します。また、ストレージ・システム・ボリュームがオンラインであること、およびストレージ・システムが稼働していてホストに接続されていることを確認します。</p>
12.	ビジーです	コマンドエラー	<p>LUN デバイス、ファイル、ディレクトリ、ディスクグループ、ホストボリューム、または他のエンティティがビジーです。</p> <p>これは、通常はコマンドを再試行するときに発生する致命的でないエラーです。リソースまたはプロセスがハングし、SnapDrive for UNIX でオブジェクトがビジー状態になって使用できなくなっていることを示す場合があります。</p> <p>また、I/O トラフィックの負荷が高くなりすぎて Snapshot コピーを正常に作成できないときに、Snapshot コピーを作成しようとしている可能性もあります。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
13	初期化できません	致命的	SnapDrive for UNIX は、必要なサードパーティの資料を初期化できませんでした。これは、ファイルシステム、ボリュームマネージャ、ホストクラスタソフトウェア、マルチパスソフトウェアなどです。
14	SnapDrive がビジーです	SnapDrive がビジーです	<p>別のユーザまたはプロセスが、SnapDrive で処理を実行するように要求したのと同時に、同じホストまたはストレージシステム上で処理を実行しています。処理を再試行してください。</p> <p>このメッセージは、他のプロセスがハングしたことを意味し、強制終了する必要がある場合があります。</p> <div>  <p>状況によっては、Snapshot のリストア処理に時間がかかることがあります。ハングしたと思われるプロセスが、Snapshot のリストア処理が完了するのを待機しているだけではないことを確認します。</p> </div>

終了値	エラー名	を入力します	説明
15	構成ファイルのエラーです	致命的	snapdrive.conf ファイルのエントリが無効、不適切、または整合性がない。詳細については、該当するエラーメッセージを参照してください。SnapDrive for UNIX を続行するには、このファイルを修正する必要があります。
17	権限が無効です	コマンドエラー	このコマンドを実行する権限がありません。SnapDrive for UNIX を実行するには、root としてログインする必要があります。
18	ストレージシステムがありません	管理エラー	SnapDrive for UNIX は、このコマンドに必要なストレージシステムにアクセスできません。エラーメッセージに示されたストレージシステムへの接続を確認してください。
19	ファイラーログインが正しくありません	管理エラー	指定したログイン情報を使用して SnapDrive for UNIX からストレージシステムにログインすることはできません。
20	ライセンスが無効です	管理エラー	このストレージシステム上で実行するには、サービス SnapDrive for UNIX のライセンスが必要です。

終了値	エラー名	を入力します	説明
22	fs をフリーズできません	管理エラー	SnapDrive for UNIX で、Snapshot コピーを作成するために指定されたファイルシステムをフリーズできなかったため、Snapshot の作成処理に失敗しました。ファイルシステムをフリーズするのに十分な I/O トラフィックが少ないことを確認してから、コマンドを再試行してください。
27	整合性のない Snapshot コピーです	管理エラー	<p>ディスクグループのイメージに整合性がない Snapshot コピーからのリストアが要求されたため、Snapshot のリストア処理に失敗しました。整合性のない画像は、次の場合に発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SnapDrive for UNIX を使用して Snapshot コピーを作成していない。 • Snapshot 作成処理は、整合性のあるビットが設定される前に中断されたため、（重大なシステム障害の場合のように）クリーンアップできませんでした。 • 作成後に Snapshot コピーで何らかのデータの問題が発生しました。
28	HBA 障害です	管理エラー	SnapDrive for UNIX で、HBA から情報を取得しようとしてエラーが発生しました。

終了値	エラー名	を入力します	説明
29	メタデータが無効です	管理エラー	SnapDrive for UNIX で、Snapshot コピーの作成時に書き込んだ Snapshot コピーメタデータにエラーが発生しました。
30	Snapshot コピーのメタデータがありません	管理エラー	メタデータに要求されたディスクグループが一部含まれていないため、SnapDrive for UNIX では Snapshot リストア処理を実行できません。
31.	パスワードファイルが正しくありません	管理エラー	パスワードファイルのエントリが正しくありません。このストレージ・システムのログイン・エントリを削除するには、SnapDrive config delete コマンドを使用します。次に、SnapDrive config set_user_name_` コマンドを使用して、ログイン情報を再入力します。
33	パスワードファイルのエントリがありません	管理エラー	パスワードファイルにこのストレージシステム用のエントリがありません。SnapDrive for UNIX を実行する必要があるすべてのストレージ・システムに対して、SnapDrive config set_username filename_` コマンドを実行します。その後、もう一度この処理を実行してください。
34	NetAPPLUN ではありません	管理エラー	SnapDrive for UNIX コマンドで、ネットアップストレージシステムにない LUN が検出されました。
35	ユーザは中止されました	管理エラー	処理の確認を求めるプロンプトが表示され、処理を実行する必要がないことを確認できます。

終了値	エラー名	を入力します	説明
36	I/O ストリームエラー	管理エラー	<p>システム入力ルーチンまたはシステム出力ルーチンが、SnapDrive for UNIX が認識しなかったエラーを返しました。</p> <p>snapdrive .dc を実行し、その情報をネットアップテクニカルサポートに送信して、リカバリを完了するために実行する手順を決定します。</p>
37	ファイルシステムがいっぱいです	管理エラー	<p>ファイルシステムに十分なスペースがないため、ファイルの書き込みが失敗しました。適切なファイルシステムに十分なスペースが解放されていれば、SnapDrive for UNIX の処理を続行できます。</p>
38	ファイルエラー	管理エラー	<p>SnapDrive for UNIX がシステム構成ファイルまたは一時ファイルの読み取りまたは書き込みを行っているときに、I/O エラーが発生しました。</p>
39	重複するディスクグループです	コマンドエラー	<p>SnapDrive for UNIX でディスクグループをアクティブ化しようとする、重複するマイナーノード番号が取得されました。</p>
40	ファイルシステムの解凍に失敗しました。	管理エラー	<p>ファイルシステム上のシステムアクティビティにより、snap create コマンドが失敗しました。通常この問題は、SnapDrive for UNIX ファイルシステムがフリーズしたときに、Snapshot コピーの作成に必要となり、Snapshot コピーが完了する前にタイムアウトになります。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
43	この名前はすでに使用されています	コマンドエラー	SnapDrive for UNIX は、ディスクグループ、ホストボリューム、ファイルシステム、または LUN の作成を試みましたが、すでに名前が使用されています。修正するには、使用していない名前を選択し、SnapDrive for UNIX コマンドを再入力します。
44	ファイルシステムマネージャのエラーです	致命的	<p>SnapDrive for UNIX で、次の場合にファイルシステムから予期しないエラーが発生しました：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイルシステムを作成しようとしています • ファイルシステムのマウントテーブルにエントリを作成し、ブート時にファイルシステムを自動的にマウントします。 <p>このコードと共に表示されるエラーメッセージのテキストは、ファイルシステムで発生したエラーを示しています。リカバリを完了するための手順を判断できるように、メッセージを記録してネットアップテクニカルサポートに送信します。</p>
45	マウントポイントエラー	管理エラー	ファイルシステムマウントポイントがシステムマウントテーブルファイルに表示されました。修正するには、使用中でないマウントポイントまたはマウントテーブルに含まれているマウントポイントを選択し、SnapDrive for UNIX コマンドを再入力します。

終了値	エラー名	を入力します	説明
46	LUN が見つかりません	コマンドエラー	<p>SnapDrive for UNIX コマンドが、ストレージ・システム上に存在しなかった LUN にアクセスしようとしてしました。</p> <p>正しく設定するには、LUN が存在すること、および LUN 名が正しく入力されていることを確認します。</p>
47	イニシエータグループが見つかりません	管理エラー	<p>ストレージシステムのイニシエータグループに想定どおりアクセスできませんでした。そのため、SnapDrive for UNIX では現在の処理を完了できません。</p> <p>具体的なエラーメッセージには、問題の内容と解決に必要な手順が記載されています。問題を修正してからコマンドをもう一度実行してください。</p>
48	オブジェクトはオフラインです	管理エラー	<p>SnapDrive for UNIX は、オブジェクト（ボリュームなど）へのアクセスを試みましたが、オブジェクトがオフラインであるために失敗しました。</p>
49	競合するエンティティ	コマンドエラー	<p>SnapDrive for UNIX で igroup の作成が試行されましたが、同じ名前の igroup が見つかりました。</p>
50	クリーンアップエラーです	致命的	<p>SnapDrive for UNIX で、削除する必要がある項目が検出されましたが、まだ存在しています。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
51	ディスクグループ ID が競合しています	コマンドエラー	<p>SnapDrive snap connect コマンドは '既存のディスク・グループと競合するディスク・グループ ID を要求しました</p> <p>これは通常、元のホスト上の SnapDrive snap connect コマンドが、それをサポートしていないシステム上で試行されることを意味します。この問題を解決するには、別のホストから処理を実行してください。</p>
52	LUN がどのホストにもマッピングされていません	管理エラー	<p>LUN はどのホストにもマッピングされていません。つまり、このボリュームはストレージシステムのイニシエータグループに属していません。アクセスできるようにするには、SnapDrive for UNIX の外部にある現在のホストに LUN をマッピングする必要があります。</p>
53	LUN がローカルホストにマッピングされていません	管理エラー	<p>LUN は現在のホストにマッピングされていません。つまり、現在のホストのイニシエータを含むストレージシステムのイニシエータグループには属しません。アクセスできるようにするには、SnapDrive for UNIX の外部にある現在のホストに LUN をマッピングする必要があります。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
54	LUN は外部 igroup を使用してマッピングされています	管理エラー	<p>LUN は外部ストレージシステムのイニシエータグループを使用してマッピングされます。つまり、ローカルホスト上にないイニシエータのみを含むストレージシステム igroup に属していることとなります。</p> <p>そのため、SnapDrive for UNIX では LUN を削除できません。</p> <p>SnapDrive for UNIX を使用して LUN を削除するには、その LUN がローカル igroup、つまりローカルホストで検出されたイニシエータのみを含む igroup にのみ属している必要があります。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
55	LUN は、混在 igroup を使用してマッピングされま す	管理エラー	<p>LUN は、混在ストレージシステムのイニシエータグループを使用してマッピングされます。つまり、ローカルホストで検出された両方のイニシエータを含むストレージシステム igroup に属していて、イニシエータが見つかりません。</p> <p>このため、 SnapDrive for UNIX では LUN を切断できません。</p> <p>SnapDrive for UNIX を使用して LUN を切断するには、その LUN がローカル igroup または外部 igroup にのみ属していて、混在 igroup には属していない必要があります。（ローカル igroup には、ローカルホストで検出されたイニシエータのみが含まれています。外部 igroup には、ローカルホストで検出されなかったイニシエータが含まれています）</p>
56	Snapshot コピーのリストアに失敗しました	管理エラー	<p>SnapDrive for UNIX は、Snapshot リストア処理を試行しましたが、Snapshot コピーに LUN が含まれていない状態で失敗しました。</p> <p>具体的なエラーメッセージには、問題の内容と解決に必要な手順が記載されています。問題を修正してからコマンドをもう一度実行してください。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
58	ホストのリブートが必要です	管理エラー	<p>内部データを更新するには、ホストオペレーティングシステムをリブートする必要があります。SnapDrive for UNIX では、この更新のためにホストが準備されていますが、現在の処理を完了できません。</p> <p>ホストをリブートしてから、このメッセージが表示されるようにする SnapDrive for UNIX コマンドラインを再入力してください。リブートが完了すると、処理を完了できるようになります。</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
59	ホスト、LUN の準備が必要です	管理エラー	<p>現在の処理を完了するには、ホストオペレーティングシステムで内部データを更新する必要があります。この更新は、新しい LUN を作成できるようにするために必要です。</p> <p>SnapDrive for UNIX は 'プロビジョニングの自動ホスト準備が無効になっているため' 更新を実行できませんこれは 'napdrive.conf 変数 <i>enable-implicit-host-preparation</i>' がオフに設定されているためですホストの自動準備を無効 SnapDrive にした状態で、 lun config prepare luns コマンドを使用してホストで LUN をプロビジョニングする準備を行うか、または手動で準備手順を実行する必要があります。</p> <p>このエラー・メッセージが表示されないようにするには 'napdrive.conf' ファイルで '<i>enable-implicit-host-preparation</i>' の値を "on" に設定します</p>

終了値	エラー名	を入力します	説明
62	空ではありません	コマンドエラー	SnapDrive for UNIX がストレージ・システム・ボリュームまたはディレクトリを削除できなかったため、エラーが発生しました。この問題は、別のユーザまたはプロセスが、SnapDrive が削除しようとするファイルをまったく同じ時刻と同じディレクトリに作成した場合に発生することがあります。このエラーを回避するには、一度にストレージ・システム・ボリュームを使用するユーザが 1 人だけであることを確認してください。
63	タイムアウトが切れました	コマンドエラー	<p>SnapDrive for UNIX が 50 分以内に LUN をリストアできなかったため、エラーが発生しました。</p> <p>リカバリを完了するための手順を判断できるように、メッセージを記録してネットアップテクニカルサポートに送信します。</p>
64	サービスが実行されていません	管理エラー	NFS エンティティを指定した SnapDrive for UNIX コマンドで、ストレージシステムが NFS サービスを実行していないため、エラーが発生しました。
126	不明なエラーです	管理エラー	重大な不明なエラーが発生しました。「napdrive.dc」ユーティリティを実行し、その結果を分析のためにネットアップのテクニカルサポートに送信します。

終了値	エラー名	を入力します	説明
127	内部エラー	致命的	SnapDrive for UNIX の内部エラーが発生しました。「napdrive.dc」を実行し、その結果を分析のためにネットアップのテクニカルサポートに送信します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。